

令和4年(2022年)5月17日 (火曜日)



事業計画の再考を訴える水循環学・工学博士の稲場さん＝三島市民文化会館

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)は15日、JR三島駅南口東街区再開発事業の第5回勉強会を三島市民文化会館大会議室で開いた。市街地再開発組合の認可が県で検討される中、4人の専門家が同事業計画の問題点を分析し検証した。

リモートを含め市民ら約60人が参加した。水循環学が専門の工学博士である稲場紀久雄さんは「組合設立が認可されるとリスク回避

具体的には地下水への影響などを懸念し、県議会2月定例会で制定された水循環保全条例によって「地下水保全対策は、今後確実に強化される」と述べ、三島市での地下水保全制度整備の必要性を指摘した。

この他、建築、地質、市街地整備の専門家が意見を述べ、参加者と

は困難になる。市民の意見に耳を傾け、10年先を見据えて計画を再考すべきだ」と訴えた。

三島駅南口東街区再開発

GW三島勉強会

専門家が問題点検証

「計画再考すべき」

意見交換した。